



厚生労働省

島根労働局

Press Release

島根労働局発表

平成28年8月5日

担当

職業安定部職業安定課

課長 菖蒲 宏

職業安定監察官 大野 正幸

TEL 0852-20-7016

平成27年度ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組結果について

厚生労働省においては、平成27年度からハローワークの機能強化を図るため、従来の目標管理・業務改善の取組を拡充し、マッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果等に基づく業務改善の取組を全国的に実施しています。

今般、島根労働局（局長 あさの しげみつ 浅野 茂充）においては、県内各ハローワークの就職件数等の主要指標・補助指標及び地域の課題を踏まえた重点指標等に関する取組結果や今後取り組む内容について、別添「就職支援業務報告（平成27年度）」のとおり公表いたします。

【業務の評価・改善の取組結果】

- 労働市場の状況や業務量が同程度の全国のハローワークを11グループに分け、そのグループ内で比較して評価しています。
- 評価は、4つの類型に区分（1：非常に良好な成果、2：良好な成果、3：標準的な成果、4：成果向上のための計画的な取組が必要）しています。

所名	グループ区分	総合評価
松江	グループ 5	標準的な成果
浜田	グループ 8	良好な成果
出雲	グループ 7	標準的な成果
益田	グループ 9	標準的な成果
雲南	グループ 10	良好な成果
石見大田	グループ 10	標準的な成果

- ※1 ハローワークの基本業務に関する目標（主要指標）
 - ① 就職件数 ② 求人充足件数 ③ 雇用保険受給者の早期再就職件数
- ※2 ハローワークの基本業務に関する目標（補助指標）
 - ① 求人者満足度 ② 求職者満足度 ③ 紹介成功率
- ※3 地域の課題を踏まえたハローワークごとの目標（重点指標）
ハローワークごとに3～5項目を設定

就職支援業務報告（平成27年度）

ハローワーク松江

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進し、サービスの質の向上や地域の課題に対応し、重点指標に関する取組を重点的に実施するとともに、職員・相談員会議、毎月実施する業務部門幹部会議において進捗状況や取組み状況を把握・検討を行い、その結果を周知することで所全体が同じ目的を持った業務運営を行いました。

特に、求人数が増加する中、求人者と求職者のマッチングの機会を増やすため、ミニ面接会を重点的にを行い、人材不足の福祉分野では年間11回開催し、就職者数が60人という成果につながりました。さらに島根県が設置している関連団体であるジョブカフェ島根と連携して定例面接会を年間6回開催し、就職者数が58人という成果となりました。

また、平成27年度から新たに全職員を対象とした事業所訪問と情報収集の取組みを開始しました。この取組において収集した事業所情報については所内事務室の掲示板に求職者向けに事業所場の職場風景等を掲示をして、求職者から「求人票だけでは分からない会社の情報が収集できる」などの評価をいただいています。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、相談窓口でのプライバシーの確保を望む意見が多かったため、窓口の仕切り整備、所内BGMの導入の改善を行いました。

さらに、所内掲示物が分かりにくいというご意見をいただいたことから、所内掲示物の掲示方法について管理者による点検と改善を行いました。

加えて、継続的なサービス改善に努めるため、「ハローワーク松江魅力UPプロジェクト」を設置し、プロジェクトメンバーによる検討を行い、職員・相談員間のコミュニケーションや情報共有のための改善提案を行いました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

重点指標に関する取組みについては、前年度から実施しているミニ面接会の開催を今年度も継続して実施することとしており、福祉分野の面接会、関係機関と連携した合同面接会の開催に加えて、所独自で実施するミニ面接会について、業種を限定した面接会についても実施

することとします。

さらに、利用者満足度について満足度を向上させるため、特に求人者満足度において満足度が期待度を下回っている項目の改善を行うため求人者サービスメニューの提供、事業所訪問による情報提供に取り組むこととします。

(4) その他業務運営についての分析等

平成 27 年度は、管内の経済が回復傾向で推移したことから、大量解雇の発生など、特に雇用情勢が悪化する要因はありませんでした。

こうした中、建設業、製造業、卸売・小売業、医療・福祉など管内主要産業で活発な求人活動となったことから、新規求人数が前年度比増加となる一方で、新規求職者は事業主都合離職者や自己都合離職者が減少したことから前年度比減少しました。

新規求人数の増加はパート求人による要因が大きく、正社員求人数が前年度比 3.8%増加と小幅であったことから、平成 28 年度においては事業所訪問等による正社員求人の確保を行います。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職者数	求人 充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職者数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	障害者の就 職件数	ハローワーク の職業紹介に より、正規雇 用に結びつい たフリーター等 の件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支援 対象者の就職率	正社員求 人数	介護・看護・ 保育分野の 就職件数		
実績	5,063	5,028	1,423	96.5%	93.1%	32.6%	346	1,100	91.3%	11,049	786		
目標	5,050	5,090	1,495	90.0%	90.0%	29.9%	304	755	87.5%	10,912	789		
目標達成率	100%	99%	95%	—	—	109%	114%	146%	104%	101%	100%		
(参考)過去3年度平均	5,294	5,319	1,492	—	—	—	—	—	—	—	—		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

就職支援業務報告（平成 27 年度）

ハローワーク浜田

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、主要指標である(常用)就職件数、雇用保険受給者の早期再就職件数及び(常用)充足件数、重点指標である生活保護受給者等、障害者及び正社員の就職件数、新規高卒者の内定率の目標達成を最重要と考え、P D C A サイクルによる検証、改善を確実に実施することを目指しました。

主要指標である（常用）就職件数及び雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成に向けて、求職者担当制支援による取組みを最重点として取組みを実施しました。担当制の支援にあたっては、求職票の記載充実(完全記載を目指しの管理者点検)を図るとともに、職業紹介担当職員 1 人あたり月 15 人を常時担当で支援することで、日常的なマッチングや精度の高い求人情報を提供することができ、紹介成功率の向上にも繋がりました。

また、雇用保険受給者に対しては、早期に再就職手当や就職支援セミナーが活用できるように、認定日全員相談や給付制限中の認定日応答日相談を開始しました。

(常用)充足件数の目標達成に向けては、新規求人や早期あっせん依頼求人、条件が緩和された求人に対するマッチングを日常的に実施するとともに、求人事業所の仕事内容をわかりやすく提供するため、画像情報を幅広い業種から収集(年間 34 件収集)するとともに、利用者の目につきやすい場所に掲示するなどの工夫を行いました。ミニ事業所説明会は年間目標(4 回)を上回る 13 回開催し、充足数 13 件の実績となりました。特に、画像情報の閲覧や事業所説明会に参加した利用者からは「求人票だけでは分からない会社の実態がよく分かった」などの評価をいただき、28 年度も充足促進の重点取組みとします。

重点指標である生活保護受給者等、障害者の就職支援については、専門職員や就職支援ナビゲーターによる双方向制による担当者支援と、関係機関(地域就業・生活支援センター、福祉事務所、地方公共団体)との連携によるケース会議や日常的な情報交換等取組みを実施しました。特に、障害者の就職支援にあたっては、障害者就職面接会をはじめ開催し、たくさんの求職者や事業所の参加をいただき、「雇用見込み事業所の採用情報や、たくさんの求職者の方と情報交換ができて良かった」などの評価をいただきました。

新規高卒者の就職支援にあたっては、浜田・江津地域雇用推進協議会との連携による早期求人提出等の要請活動や企業説明会の開催、学卒ジョブサポーターによる学校との連携による個別相談や個別求人開拓等がうまく実施でき、早期に就職希望者全員の就職が内定しました。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

「平成 27 年度利用者満足度調査」のハローワークサービス点検項目では、求職者及び求人者ともに、「みやすい案内表示」「みやすいポスター等展示」「わかりやすい掲示・陳列」「苦情等提出先」が課題との意見が多かったため、掲示ポスターやリーフレットの絞り込みや案内表示の掲示内容と掲示場所の点検等を、所長はじめとする管理者が日常的に点検を実施しました。

ハローワークサービスに対する期待度と満足度についてみると、求職者及び求人者に対するハローワークサービスメニューの案内が十分にできていないため、ハローワークサービスメニューの点検と、利用者ニーズに応じたメニュー提供が確実にできるように、朝ミーティング(管理者点検によるフィードバックをふまえて日常的に実施)や OJT 研修を計画的に実施しました。(3 月には、若者雇用促進法及び助成金の研修会を実施)

接遇面については、職員間の会話や相談内容が聞こえるとの意見もみられることから、2 月より 1F 職業相談フロアで BGM 音楽をながすなどの改善を行ったとともに、管理者による点検を日常的に実施しました。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

雇用情勢が改善する中、求人事業所からは「求職者のより多くの紹介」を希望する声が強くなっており、充足支援サービスの拡充が必要となっています。このため、窓口や事業所訪問時での求人受理にあたっては、職種単位のバランスシートを提供するなどわかりやすく雇用情勢を説明するとともに、求人に係る各種情報を視覚で発信する画像情報の提供や、管理選考型のミニ面接会へ参加勧奨を強化していきます。(平成 28 年度の目標値は、27 年度水準を上回る目標設定)

また、江津市で実施している一体的実施事業の拠点である「ワークステーション江津」では、江津市と連携協力して「事業所説明会」(年間 6 回)などの各種取組みを計画的に開催していきます。

（４）その他業務運営についての分析等

雇用情勢が改善する中、正社員就職促進を希望する求職者に対しては、確実に支援を実施することが必要となっています。このため、正社員希望者に対しては担当制や積極的なマッチングによる求人情報提供等で支援するほか、非正規求人の割合が高い「製造業」、「卸売業、小売業」、「医療、福祉」を正社員確保対象産業とし、事業所を訪問等により正社員求人の確保を目指します。また、管内事業所は小規模事業所が多く、人材確保のための雇用管理面での点検と改善の必要性についてわかりやすく説明するとともに、キャリアアップを中心とした各種助成金の活用による改善提案を積極的に行っていきます。

２ 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

浜田市、江津市で策定された「地方版総合戦略」においては、企業誘致や若年者定着等の各種取組みが重点として記載されています。企業誘致情報を収集した際は、市等の関係機関と連携し人材確保に向けた支援を積極的に行うほか、浜田・江津地域雇用推進協議会の実施する若年者定着促進の各種取組みに積極的に参画してまいります。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数	正社員就職 件数	新規高卒者 の就職内定 率			
実績	2,282 件	2,087 件	737 件	93.4%	95.9%	46.1%	66 件	115 件	1,086 件	100.0%			
目標	2,280 件	2,140 件	725 件	90.0%	90.0%	41.1%	33 件	118 件	1,100 件	100.0%			
目標達成率	100%	98%	102%	—	—	112%	200%	97%	99%	100%			
(参考)過去3年度平均	2,431 件	2,238 件	668 件	—	—	—	—	—	—	—			

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

就職支援業務報告（平成 27 年度）

ハローワーク出雲

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、この目標達成のための重点取組として「求職者担当制」による支援を掲げました。

これまで求職者担当制による取組では、目標意識の共有や進捗管理などに問題がみられ、取組が長続きしないなど定着に課題がみられました。

求職者担当制の取組を現場に根付かせるため、①担当者全員を「担当者制実施要領」の見直し作業に参画させることで意識の醸成と取組内容の共有を図り、②統括職業指導官によって日常的に担当者ごとの進捗管理を行うとともに、担当者とのヒアリングによるきめ細かなアドバイスを実施し、③取組実績の「進捗表」による見える化など、年度を通じて取り組みました。

こうした取組によって、計画数を上回る求職者を対象に求職者担当制による支援を図り、対象者の就職率も 81.9%と高い成果をみました。

この取組については今後も継続いたします。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートにおいて、「所内の利用案内表示や資料掲出などが分かりにくい」といったご意見をいただきました。

こうしたご指摘を踏まえ、ハローワークに対する「予備知識ゼロ」の視点を意識し、勤務経験の短い非常勤職員によって所内の「案内表示」や「掲示・陳列」を再点検のうえ見直しを行いました。

（3）今後のサービス改善・業務改善の取組について

今年度から、求職者に求人事業所や仕事内容の理解を深めていただくことで求人充足を促進することを目的に、「応募前職場見学」の取組を開始しましたが、取組結果では多くの求人者から見学受入の応諾をいただけたものの、実際の見学者は少数にとどまりました。

こうした取組は、求人・求職者サービスに繋がるとともに紹介成功率の向上や職場定着にも結びつくものであり、更に取り組みます。

（4）その他業務運営についての分析等

大型小売店の出店などに伴い求人倍率の改善がみられる中、介護分野等の人手不足分野などでは人材の確保が一層厳しくなっています。

こうした状況を踏まえ、人手不足分野や立地企業等の人材確保対策にも一層取り組みます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	障害者の就 職件数	正社員求人 数	正社員就職 件数			
実績	3,089	2,910	1,013	95.1%	97.3%	36.0%	64	221	5,602	1,480			
目標	3,230	3,090	1,000	90.0%	90.0%	32.2%	55	163	5,298	1,515			
目標達成率	96%	94%	101%	—	—	112%	116%	136%	106%	98%			
(参考)過去3年度平均	3,274	3,175	990	—	—	—	—	—	—	—			

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

就職支援業務報告（平成 27 年度）

ハローワーク益田

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「正社員就職件数」及び「障害者の就職件数」の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、正社員求人を中心としたマッチングや関係機関と連携した就職支援等の取組みを行いました。

正社員就職では、正社員求人のマッチングに力点を置き、新規求人や早期あっせん依頼があった求人等を中心に、部門員全員で取り組んだ結果、マッチング件数は年間目標の 1,458 件を上回りましたが、情報提供しても紹介に至らないケースがあったため、正社員就職件数は目標未達となりました。今後も能動的なマッチングを実施することとし、対象求人の選定方法等を検討してまいります。

障害者の就職では、就業・生活支援センターと連絡会議を毎月開催し、支援対象者の情報共有・就職支援を実施しました。11 月には就職面談会を開催し、職場実習や就職に繋げることができました。その結果、障害者の就職件数は目標を達成することができました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者意見の中に、相談中のプライバシーについてのご指摘があり、相談窓口と待合椅子の間に CD プレイヤーを置いて常時音楽を流し、相談者のプライバシー保護と待合者のリラックスを図る等の取組みを実施しました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

利用者アンケートでは、「求職者のより多くの紹介」に期待が大きいこと、また、今後も求人倍率が高い状態が続くと予想されることから、正社員求人を中心としたマッチング等の基本業務を積極的に実施してまいります。

総合評価は、「標準的な成果（類型 3）」となりましたが、所重点項目の取組みが不足している等、必ずしも満足の行く結果とはなりません。平成 28 年度は、特に取組みが不足していた次の 7 項目について業務改善を図り、積極的・計画的に取り組むことといたします。

なお、7 月 5 日及び 6 日に職員会議・研修を開催し、平成 28 年度の業務運営計画において「求人・求職のマッチングの推進」を重点事項としていることを改めて説明し、求人充足会議や担当者制の活用等により、他の部門・職員等と求人・求職の情報共有を図りながら、マッチングの頻度を高めるよう指示するとともに、労働大学校平成 28 年度公共職業安定所長研修資料を活用して、マッチングサービスの充実化に向けた研修を実施したところです。

① 求職者担当制の実施

実施要領を策定し、職業相談部門の正規職員による双方向の担当制を実施する。1人当たり72人以上、就職率75%以上を目指す。

② 求人に対する担当者制の実施

実施要領に、担当者制を実施する基準、求人の選定方法等を定め、能動的マッチングから充足に至るまでのフォローアップを行う。

③ 他所の好事例を導入した業務改善の実施

能動的マッチング（提案型紹介）か否か等のコードを設定し、実績を分析するとともに、職員等へフィードバックする。

④ 地方自治体との連携の推進（3）

管内自治体（吉賀町）からの要望を踏まえ、「人材確保・定着推進協議会」に参画し、誘致企業の人材確保を支援する。

⑤ 雇用保険受給者の早期再就職に資する取組みの実施

給付制限中の者に対する呼出相談・紹介を能動的に実施し、紹介件数を340件以上とする。

⑥ 早期充足に向けた取組み

正社員や良質求人の確保に努め、能動的なマッチングにより1か月以内に完全充足させた求人割合を11%以上とする。

⑦ ミニ面接会（管理選考）の実施

正社員求人や開拓求人、マッチング困難な業種・職種等に係る求人について実施し、開催回数を6回以上、就職件数を6件以上とする。

（4）その他業務運営についての分析等

県内の経済情勢は緩やかな回復を続け、当所管内においても求人数が増加、求職者数は減少傾向で推移し、平成28年5月の有効求人倍率は1.56倍となっており、求人の充足が課題となっています。充足に当たっては、求人が増加していることから、正社員就職を進める絶好の機会ととらえ、引き続き、正社員就職を推進してまいります。また、マッチング機能に関する総合評価に対応するため、職業紹介基本業務の徹底など、マッチングに直結する質・精度の向上にも取り組んでまいります。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受給者 等の就職件数	障害者の 就職件数	正社員 就職件数
実績	1,431	1,380	424	98.4%	95.4%	52.8%	45	91	673
目標	1,395	1,400	435	90%	90%	44.1%	30	91	710
目標達成率	103%	99%	97%	—	—	120%	150%	100%	95%
(参考)過去3年度平均	1,503	1,404	422	—	—	—	—	—	—

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

就職支援業務報告（平成 27 年度）

ハローワーク雲南

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、「利用者の立場に立ったサービス提供」及び「保有個人情報の厳正な管理」とともに、「地域や労働基準行政と連携した業務運営」を業務の基本方針に掲げ取り組みました。特に地域との連携では、日常的に自治体等を訪問するなどによって、大量雇用事業所に対する対応、新卒者の地元就職促進など地域課題への対応、自治体独自の雇用支援施策への協力、地方創生総合戦略の策定協力、国の地域雇用政策の活用の働きかけなど、地域関係者との連携した業務推進に努めました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

ハローワークサービス総点検結果を踏まえ、窓口パーティションの拡張と新設によって来所者のプライバシー配慮の改善を図りました。こうした改善によって利用者から相談しやすくなったといったご意見をいただきました。

また、利用者が迷わず来所できるよう、庁舎周辺道路（国道 54 号線及び主要地方道）の拡幅等を踏まえ関係行政機関へ案内表示の新設等を要請し、国道への新設（2 か所）や主要地方道の表示見直し（3 か所）の実現をみました。

（3）今後のサービス・業務改善の取組について

求人の充足数が目標に対し不十分な結果となりました。当所としましては、求人充足対策会議を定期開催し、その結果に基づく求人者支援を取組むこととしましたが、目標の開催回数に届きませんでした。今後は求人充足会議の定期開催（1 週間に 1 回）、昨年度以上の求職者への求人・事業所情報の提供、ミニ面接会の開催など改善に努めてまいります。

（4）その他業務運営についての分析等

地域の雇用情勢では、求職者数の減少を背景に有効求人倍率はやや改善しましたが、産業によっては受注の減少などの状況もみられ、求人者支援員による事業所訪問等によって求人確保に取り組んだものの求人数は前年度を下回りました。

こうした中、正社員求人を中心とした求人確保対策とともに求人充足対策をさらに強化することで、求人・求職者サービスの一層の改善に努めます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

地方自治体と連携し、地域への進出企業に対するアドバイス（助成金の活用）や募集採用への支援（ミニ面接会の開催など）などについて、一定の評価を頂きました。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	生活保護受 給者等の就 職件数	ハローワークの 職業紹介により 正規雇用に結び ついたフリーター 等の件数	高校新卒者 の就職内定 率				
実績	865	681	306	97.6%	93.7%	40.6%	24	139	100%				
目標	840	740	330	90.0%	90.0%	37.9%	11	77	100%				
目標達成率	103%	92%	93%	—	—	107%	218%	181%	100%				
(参考)過去3年度平均	949	778	358	—	—	—	—	—	—				

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

就職支援業務報告（平成 27 年度）

ハローワーク石見大田

1 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、所重点項目において、「事業所画像情報の収集」の取組の目標達成を最重要と考え、特に重点的に進めることとし、求人者支援員の事業所訪問に併せて、事業所の外観や作業工程等の画像を収集し、システムに登録の上、求職者に提供を行いました。

画像情報収集件数は、20 件以上の目標に対し、45 件となり、目標を大きく上回りました。

また、28 年度からは、マッチング業務について、所の重点項目として掲げ、前日受理の新規求人及び受理後 2 週間経過時点で紹介件数ゼロ件の正社員求人について、全てマッチングを行い、DM 送付等による取り組みを開始しました。この取組を継続して行うことで、目標達成に向けた職員・相談員の意識の醸成を図ることとしており、着実に浸透していると思料します。

（２）サービス改善・業務改善を図った事項

利用者アンケートでは、①接遇・接客態度、②求職者サービス全般の向上、③求人数の確保と求人内容の充実などの意見が多かったため、調査結果を一覧表にまとめ、安定所に対する利用者の期待度に対する満足度の実態を提示しつつ、管理者による具体的コメントを付したデータを基に職員研修を行いました。

（３）今後のサービス・業務改善の取組について

当所管内の人手不足業種である介護分野について、自治体との共催による就職フェアを 1 回開催しましたが、当初予定より参加者が少なく、自治体と協議の上、より多くの求職者の皆様に参加していただけるよう改善を図ることとします。

また、28 年度からは、毎月 1 回、新たに介護・看護・保育に特化した求人情報誌を作成し提供しています。さらに当該分野に係るミニ面接会を三半期に 1 回開催する予定です。この取組による就職件数を年間 6 件（各三半期 2 件）見込んでいます。

（４）その他業務運営についての分析等

平成 27 年度は、正社員求人の確保、正社員就職の増加に向けて、マッチングや正社員求人情報誌の月 2 回の発行に取り組んだが、マッチング業務のあり方について改善の必要があったことから、28 年度は、マッチング業務を当所の重点項目として掲げ、上記（１）の取り組みを着実に実施していくこととします。

2 総合評価（※）

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介 成功率	障害者 就職件数	正社員 就職件数	介護・看護・ 保育分野の 就職件数				
実績	738	587	246	95.9%	93.5%	46.2%	60	292	110				
目標	730	640	205	90.0%	90.0%	42.5%	34	320	139				
目標達成率	101%	92%	120%	—	—	109%	176%	91%	79%				
(参考)過去3年度平均	782	666	216	—	—	—	—	—	—				

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率